

会社概要／株式の状況（2017年2月28日現在）

会社概要	
会社名	シンプロメンテ株式会社 (英文表示：Shin Pro Maint Inc.)
資本金	233,438千円
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ
従業員数	84名
本店所在地	〒140-0011 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル 3F TEL 03-5767-1616（代表）
設立年月日	1999年10月 (平成11年10月に株式会社トレス・プロジェクトを設立。 平成16年12月に商号をシンプロメンテ株式会社に変更し、 現在に至る。)
事業内容	店舗、厨房設備の維持・保全のための トータルメンテナンスサービス業 店舗メンテナンス・コンサルテーション

役員	
代表取締役会長兼社長	内藤 秀雄
専務取締役事業本部長	村山 政昭
取締役管理本部長	大崎 秀文
取締役	内藤 剛
社外取締役	脇本 源一
常勤監査役	上野 満雄
社外監査役	山縣 有徳
社外監査役	田村 稔郎

株主メモ	
〔事業年度〕	毎年3月1日～翌年2月末日まで
〔剰余金の配当基準日〕	8月31日 2月末日
〔定時株主総会〕	毎年5月中
〔株主名簿管理人〕	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
〔事務取扱場所〕	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔郵便物送付先〕	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031（通話料無料）
〔公告の方法〕	当会社の公告は、電子公告により行います。 http://www.shin-pro.com/ 但し、やむえない事由により、電子公告によることが できない場合は、日本経済新聞に掲載しております。

シンプロメンテ株式会社
〒140-0011 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル 3F TEL：03-5767-1616（代表）

株式の状況

発行可能株式総数

発行済株式の総数

株主数

4,000,000 株

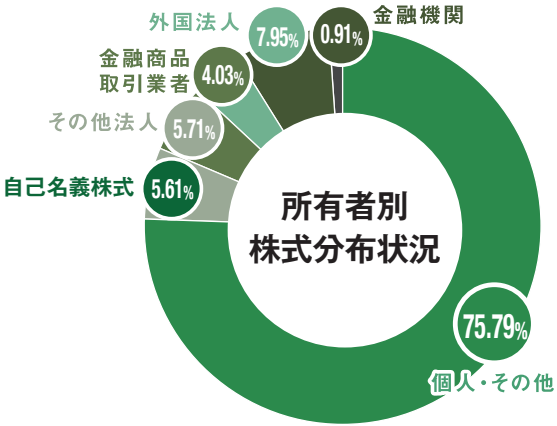
1,683,257 株
(自己株式100,043を除く)

1,271 名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
内藤 秀雄	425,600	25.28
内藤 秀治郎	188,600	11.20
株式会社ShuManagement	100,000	5.94
内藤 剛	90,000	5.34
GOLDMAN, SACHS & CO. REG.	78,400	4.65
合田 利恵	78,000	4.63
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	59,420	3.53
外池 栄一郎	27,300	1.62
大崎 秀文	26,000	1.54
内藤 千佳子	24,000	1.42

当社は、自己株式100,043株を所有しておりますが、上記大株主より除外しております。



財務ハイライト			
■貸借対照表より		(単位:千円)	
科 目	第31期	第32期	
資産合計	1,877,121	2,044,299	
負債合計	943,413	1,103,913	
純資産合計	933,707	940,386	
■損益計算書より		(単位:千円)	
科 目	第30期	第31期	第32期
売上高	4,307,370	4,936,002	5,648,431
経常利益	105,388	211,643	258,937
当期純利益	70,797	120,764	173,086

第32期 株主通信

2016.3.1 ▶ 2017.2.28

BUSINESS REPORT

ごあいさつ



代表取締役会長兼社長
内藤 秀雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は昨年3月、代表取締役社長に再就任しました際に「第2創業期」と銘打ち、事業の地盤固めとさらなる飛躍への準備という2つの課題を掲げました。

その後、地盤固めは、地道な活動が功を奏し、安定した売上高と利益増大につながり、現時点で29,000超の店舗様から1日平均300件以上の修理を依頼される規模へと成長いたしました。また、「メンテキーパー」と呼ばれる協力業者様も5,500社を超え、比類なきスピードとクオリティを保ちながら、当社のコスト競争力向上に一緒に取り組んでおります。

こうしたなか、店舗メンテナンス業界の市場規模は、当社試算で1,100億円超とみております。また、本市場は規模の大きいプレイヤーがより良いサービスをより安価で提供できる可能性があります。そのため、店舗メンテナンス業界内での規模の拡大および圧倒

的No.1というポジションの早期実現に向けて、同業界内でのM&Aの検討を進めてまいりました。そして、その第一弾として株式会社乃村工藝社の子会社、株式会社テスコを完全子会社化することといたしました。なお、株式会社乃村工藝社とは合併会社、株式会社TNPを設立し包括的な業務提携契約を締結するなど、パートナーシップ戦略によって両社の事業領域拡大に努めてまいります。

業務提携・パートナーシップ戦略は、東京電力エナジーパートナー株式会社、西部ガス株式会社等、電力・ガス会社にも広がっています。こうしたパートナー企業様の広がりは、とりもなおさず当社が社会インフラを支える企業へ進化していることの表れと捉えております。

株主の皆様のご期待に添えられるよう、日々精進してまいりますので、今後ともご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

IRインフォメーション

株主優待制度

●対象となる株主様
毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

●株主優待の内容	
保有株式数	優待内容
100株以上、300株未満	全国共通お食事券ジェフグルメカード 1,000円相当分の交付
300株以上	全国共通お食事券ジェフグルメカード 3,000円相当分の交付

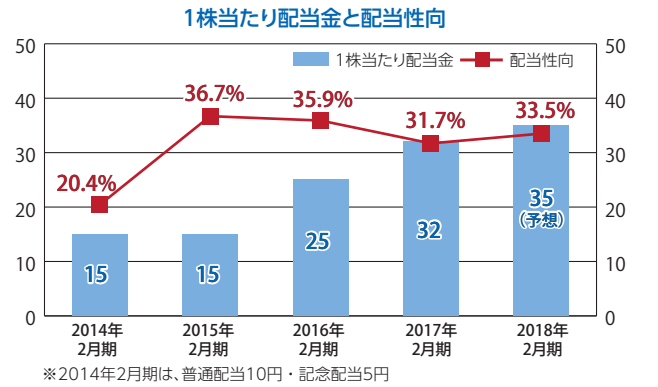
※「全国共通お食事券ジェフグルメカード」とは、全国35,000店舗の加盟店でご利用いただけるお食事券です。

●贈呈時期
毎年、定時株主総会終了後にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送を予定しております。



配当につきまして

●長期的かつ総合的に株主利益の向上を図り持続的に配当を行うことを基本方針とし、配当と株主優待の総合的な株主還元を強化していくことを目指します。



収益基盤の強化を図り、企業価値の向上につなげるグループ運営体制を構築します。

Q 2017年2月期(当期)の業績と取り組みについてお聞かせください。

A 当期はメンテナンスサービス事業において、より素早く的確な顧客対応を目指し、人員増強による量的強化や教育研修による質的強化に加え、メンテナンス協力業者様(メンテキーパー)のネットワーク拡充を引き続き行いました。また、営業面においては、サービス対象業界の拡大およびサービス対象店舗数の増加を目指した営業活動の推進、規模・価格面での競争力強化と併せて、顧客の多様なニーズに対応する新メンテナンスの提案、計画、実施を行いました。

サービス別では、売上高の柱である「緊急メンテナンスサービス」は、新規顧客獲得に加えて、既存顧客のサービス対象店舗数やメンテナンスの対象種類を増やしたことで依頼数、夏期のエアコン更新の受注が伸び、堅調に推移いたしました。「予防メンテナンスサービス」は、当社メンテナンスの実績が評価され、大手チェーン企業の店舗を中心とする既存サービスであるエアコン、冷凍・冷蔵機器の事前整備、点検、洗浄が好調に推移いたしました。

こうした取り組みの結果、当期の売上高は56億48百万円(前期比14.4%増)、営業利益は2億58百万円(同22.4%増)、経常利益は2億58百万円(同22.3%増)、当期純利益は1億73百万円(同43.3%増)となりました。

Q 今を「第2創業期」と考える御社の今後の展開についてお聞かせください。

A 「第2創業期」とは、昨年3月1日に私が3代目の代表取締役社長として再就任した際、創業時と同じ気持ちで事業に組みたいと考え、銘打った3年間の施策です。この施策の下、顧客に利便性と効率性をより享受していただけるよう、従来の店舗メンテナンスサービスをワンストップで提供する事業モデルをさらに深化させ、メンテナンスサービスの質的向上に努めます。基盤事業の主要4業種(飲食・小売・理美容・介護業界)を伸ばす一方で、シナジーを創造できる異業種との協業を進めております。東京電力エナジーパートナー株式会社および西部ガス株式会社と提携し、その顧客

である小規模チェーン店に対して店舗メンテナンスサービスを共同で提供する試みを開始いたしました。

以上の取り組みにより、2018年2月期(今期)の売上高は64億1百万円(当期比13.3%増)、営業利益は3億円(同16.3%増)、経常利益は3億円(同16.2%増)、当期純利益は1億86百万円(同7.8%増)と増収増益を見込んでいます。

Q 株式会社テスコを連結子会社とすること、そしてホールディングス化についてお聞かせください。

A スケールメリットを活かして、競争力の向上を図ることを以前から考えておりました。その思いを一気に推し進めるために、今回、M&Aの手法を使わせていただきました。当社は、本年9月1日を目途に持株会社体制へ移行します。株式会社乃村工藝社との間で資本提携および業務提携契約を締結しました。そして、株式会社テスコを株式交換により100%完全子会社とすることとなりました。

これにより株式会社テスコは当社の連結子会社となり、ともにメンテナンス事業の拡大を図っていくことになります。具体的には、持株会社である当社の元でシンプロメンテ株式会社と株式会社テスコの2社で事業展開を行ってまいります(特集 持株会社体制への移行と株式会社テスコの完全子会社化を参照)。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

A 当社は、長期的かつ総合的な株主利益の向上を図り、持続的に配当を行うことを基本方針としています。当期の期末配当は、7円増配の1株当たり32円とさせていただきます。今期の期末配当は3円増配の35円を予定しています。

また、前期に新設しました株主優待制度は従来どおり保有株数に応じて「全国共通お食事券ジェフグルメカード」を贈呈いたします。

株主の皆様には、引き続きより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

特集 持株会社体制への移行と株式会社テスコの完全子会社化 シンメンテホールディングス株式会社が発足いたします。

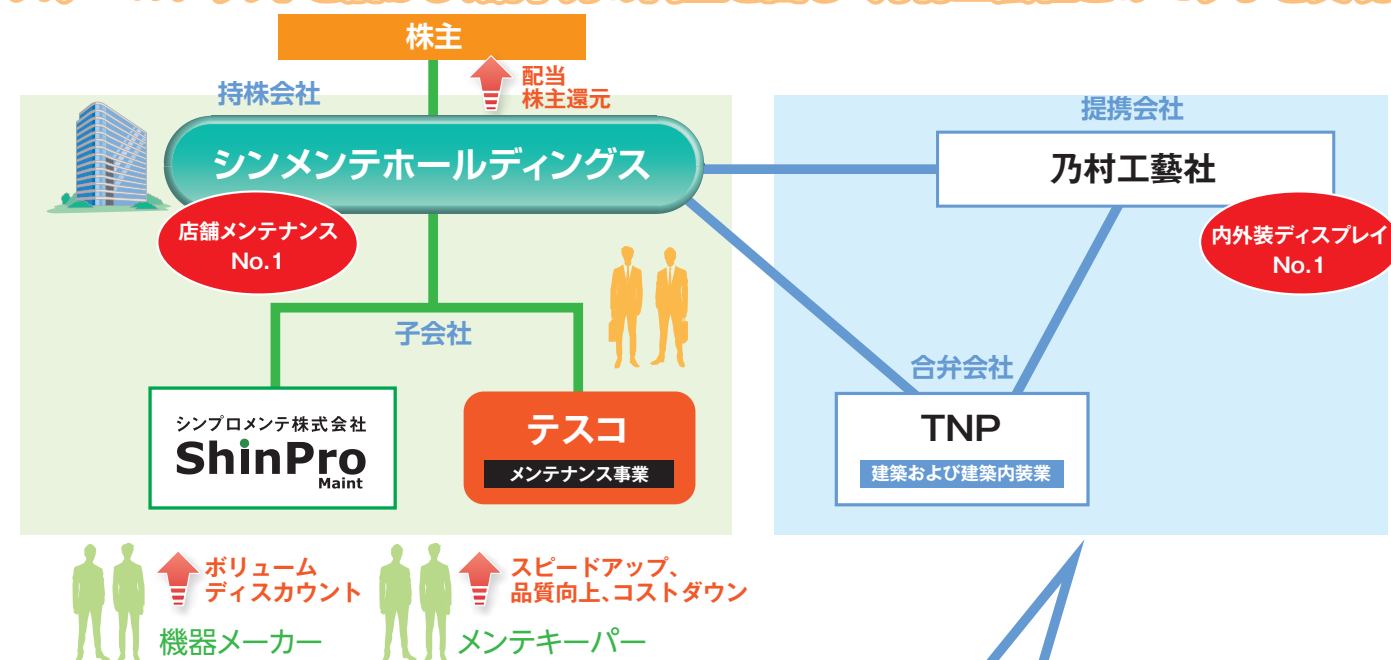
当社は、本年4月27日開催の取締役会において、9月1日を目途に持株会社体制へ移行することを決定しました。当社を吸収分割会社(分割会社)とし、100%出資の分割準備会社である「シンプロメンテ分割準備株式会社」を吸収分割承継会社(承継会社)とする分社型吸収分割方式により行います。これにより、9月1日付で分割会社は持株会社の「シンメンテホールディングス株式会社」に、承継会社は同社100%子会社の「シンプロメンテ株式会社」に商号変更いたします。

また、すかいらく等、飲食店に強い店舗メンテナンス会社である株式会社テスコを完全子会社化することいたしました。シンプロメンテ株式会社と株式会社テスコをシンメンテホールディングス株式会社の元に配置し、店舗メンテナンス業界No.1

のグループ運営体制を構築いたします。スケールメリットの拡大により、機器メーカーからボリュームディスカウントを受けられる可能性が高まり、調達価格の低減につながることを期待されます。さらに協力業者様(メンテキーパー)に対しては発注量が増えることにより、スピード、品質、コストの観点で今まで以上に協力が得やすくなります。結果として、お客様に対して「比類なきスピードを持って、ハイクオリティかつリーズナブルなメンテナンスを継続して提供する」という当社の経営理念の実現に近づいてまいります。そして、店舗メンテナンス業界で圧倒的No.1の地位を確立することにより、ブランド力・信用力を築き、より一層のサービスを提供したいと考えております。

※なお、移行方式は分社型吸収分割方式によるため、証券コード(6086)の変更はございません。

スケールメリットを活かし、競争力の向上を図る 乃村工藝社とのコラボを実現



株式会社乃村工藝社との資本・業務提携による事業機会の拡大

当社は、株式会社テスコの親会社であった株式会社乃村工藝社と資本・業務提携契約を締結いたしました。これにより、主にチェーン展開型店舗をもつ企業へさらに充実したサービスを提供できるようになります。

- 株式会社乃村工藝社と合併会社、株式会社TNPを設立し、店舗メンテナンス専業であるシンプロメンテ株式会社、株式会社テスコでは扱わない新設・改装等、建設系の依頼を株式会社TNPに紹介し、お客様の要望に幅広く応えてまいります。なお、シンメンテホールディングス株式会社は、株式会社TNPに20%の出資を行うことから、今後、持分に応じた利益配分を得られるようになります。
- 株式会社乃村工藝社とは、相互の顧客紹介、人材の育成・交流、新サービスの検討・開発等、国内外における包括的な業務提携契約を締結いたします。
- 店舗メンテナンス業界No.1企業である当社グループと、店舗内装等、ディスプレイ業界No.1企業である株式会社乃村工藝社のコラボレーションにより、両社の事業機会を拡大し、相互の企業価値向上を目指してまいります。